

# 結核って、どんな病気？



## 「結核」って な～に？

「結核菌」という細菌が体の中に入ることによって、主に肺に炎症を起こす病気です。人から人へうつっていく、**日本で最大の「感染症」**です。

## 初期症状は？

- 咳や痰が出る、微熱がある、体がだるい… など、**風邪の症状とよく似ています。**
- 咳や痰が2週間以上続くときや、胸痛、急激な体重減少があるときは、早めに医療機関を受診しましょう。

## 感染・発病したら？

**結核は薬で治ります。**ただし、もし治療の途中で服薬をやめると、**薬が全く効かない結核**になることもあるため、決められた期間、毎日きちんと飲むことが大切です。

## どうやってうつる？

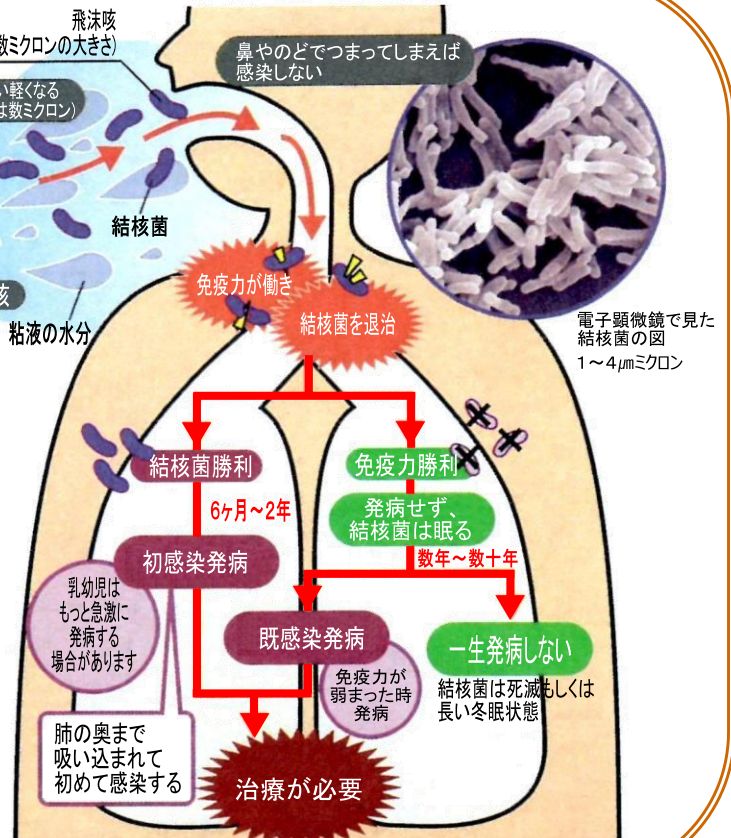
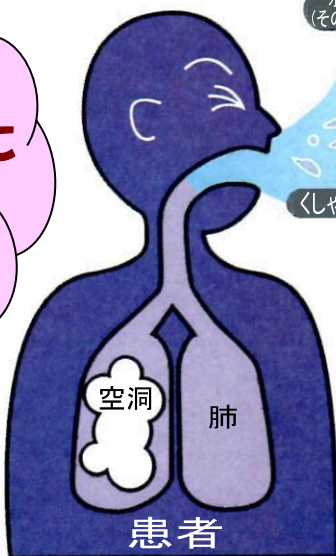
重症の結核患者が咳やくしゃみをする時、しぶき（飛沫）と一緒に結核菌が飛び散り、空気中に漂います。それを周りの人が吸い込むと感染する場合があります。ただし、**結核に「感染」しても、必ず「発病」するわけではありません。**感染した人が発病する確率は、10～20%と言われています。

## 「感染」と「発病」は違う？

- **「感染」**とは… 吸い込まれた結核菌が肺の奥に到達し、定着した状態のことです。結核菌が体内に入ってから感染が成立するまでは、約2ヶ月かかると言われています。
- **「発病」**とは… 感染した後、結核菌が活動を始め、菌が増殖して体の組織を冒し、様々な症状が表れ出した状態です。加齢や過労・栄養不足などで免疫力が弱まったとき、体力が衰えたときなどに発病しやすいと言われています。

## 結核発病のシステム

**感染を  
拡げないために**  
咳が出るときには  
マスクをつけましょう  
(せきエチケット)



電子顕微鏡で見た結核菌の図  
1～4μmミクロン



結核予防会キャラクター「シールぼうや」

～i f～

# もしも、身近な人が「結核」になったら…？



## 接触があった人は？

結核患者が発見された場合、患者と接触があった方には保健所が健診を行います。**(接触者健診)**  
この場合の**費用は無料**です。結核菌が体内に入ってから感染・発病するまでには時間がかかるため、周囲の方への健診は通常、感染源となる患者との最終接触から2ヶ月後以降～2年後まで、感染の危険度に応じて数回にわたり実施されます。健診の時期や内容・受診場所等については、患者本人の病状・周囲の方々の年齢・接触状況などを踏まえ、危険度に応じて保健所で判断させていただきます。

## 健診の内容は？

- ツベルクリン反応検査・・・ ツベルクリンという、結核菌から作ったたんぱく質を腕に注射して、注射したところが赤く腫れてくるかどうかを検査します。結核に感染しているかどうかわかります。
- QFT検査・・・ 採血を行い、血液中の特殊なたんぱく質を調べます。結核に感染しているかどうかわかります。
- 胸部X線検査・・・ 胸部レントゲン写真を撮り、結核を発病しているかどうか調べます。

## ～結核を予防するには～



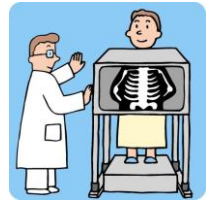
規則正しい生活で、免疫力UP↑  
(十分な睡眠、バランスの取れた食生活、適度な運動など)



赤ちゃんは BCG 接種  
(生後 1 歳まで)



こまめな換気  
& 日光消毒  
(結核菌は紫外線に弱い)



年に一度は  
健康診断

## 保健所がお手伝いします！

結核と診断された方々には、保健所から担当の保健師がお伺いして、病気について正しく理解し早く回復できるよう、お手伝いをさせていただきます。

プライバシーは絶対に守られますので、治療やご家族の健康に関することなど、不安なことがあれば何でもご相談ください！



置賜保健所 感染症対策担当  
(0238)22-3002

